

(単純集計版・全国との比較)

在宅介護実態調査の集計結果 (大阪府版)

令和4年3月

(1) 分析の概要

○分析の対象自治体：大阪府下 **41** 保険者のうち、データ提供のあった **37** 保険者

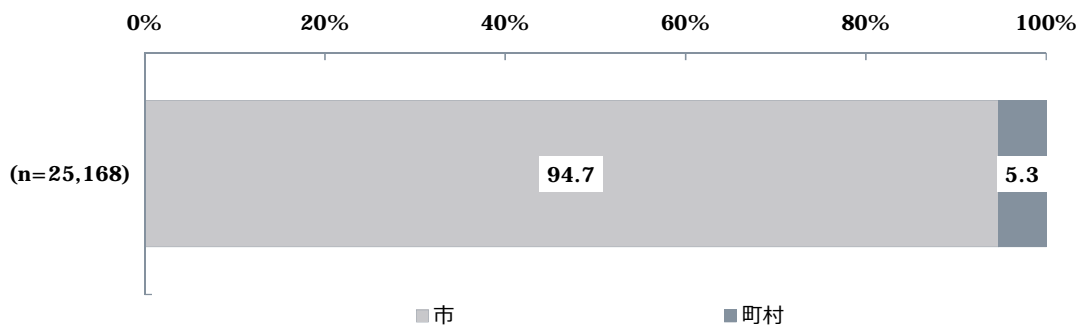
○データの留意点

- ・本データは、大阪府下の保険者が実施した在宅介護実態調査（類似の調査含む）を比較できるように、データを加工し、集計したものである。
- ・国の調査票と異なる設問、選択肢で聞いている場合でも、類似する設問であれば、集計の対象としている。
- ・国の調査票と選択肢を変えている自治体があるため、全国よりも、その他、無回答の割合が高くなっているところがある。
- ・設問によっては、データがない自治体もあるため、大阪府全体の **n** 数は設問によって異なっているところがある

①都市区分

都市区分は、「市」が**94.7%**、「町村」が**5.3%**となっている。

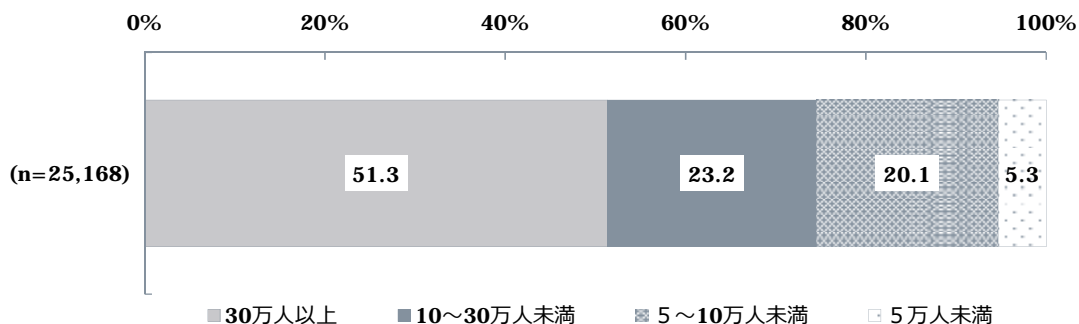
図表 1 都市区分



①人口規模

人口規模は、「30万人以上」が**51.3%**、「10～30万人未満」が**23.2%**、「5～10万人未満」が**20.1%**、「5万人未満」が**5.3%**となっている。

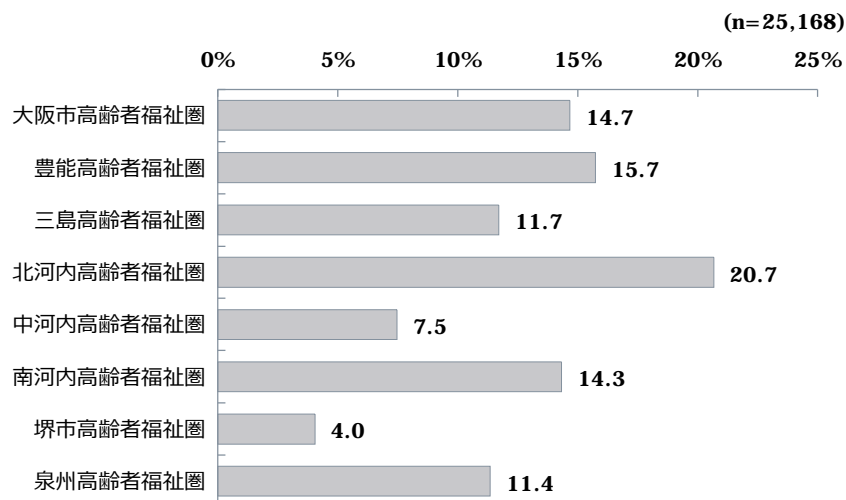
図表 2 人口規模



②高齢者福祉圏域

高齢者福祉圏域は、「北河内高齢者福祉圏」が最も高く**20.7%**、次いで「豊能高齢者福祉圏」が**15.7%**となっている。

図表 3 高齢者福祉圏

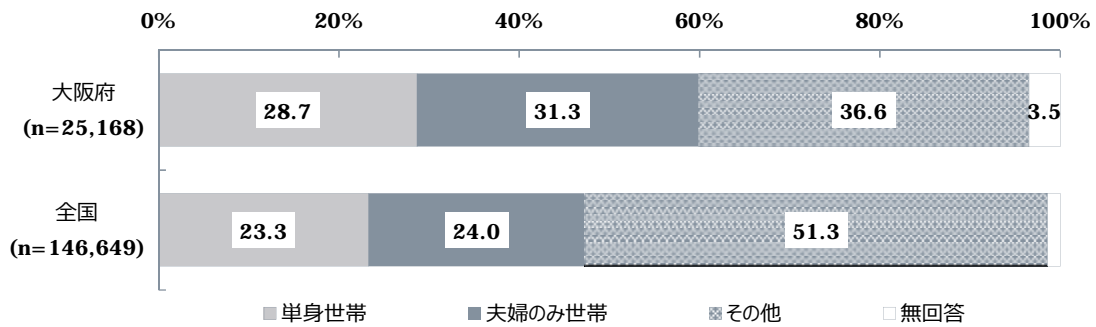


(2) 基本調査項目（A票）

①世帯類型

世帯類型は、「夫婦のみ世帯」が最も高く **31.3%**、次いで「単身世帯」が **28.7%**となっている。

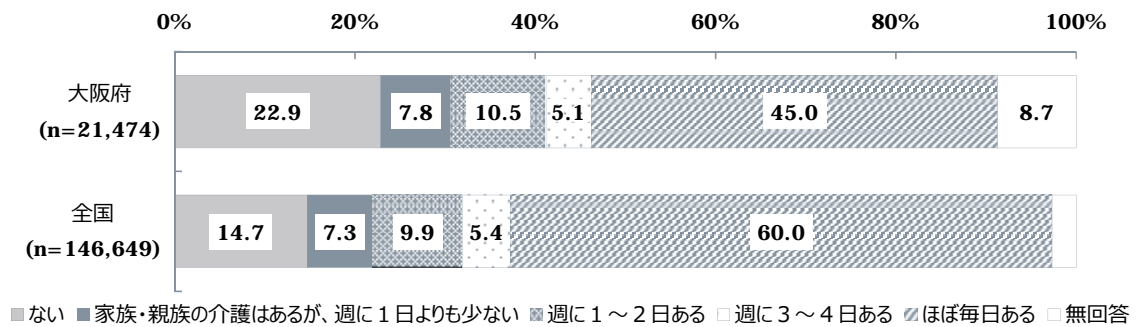
図表 4 世帯類型



②家族等による介護頻度

家族等による介護頻度は、「ほぼ毎日ある」が最も高く **45.0%**、次いで「ない」が **22.9%**、「週に1～2日ある」が **10.5%**となっている。

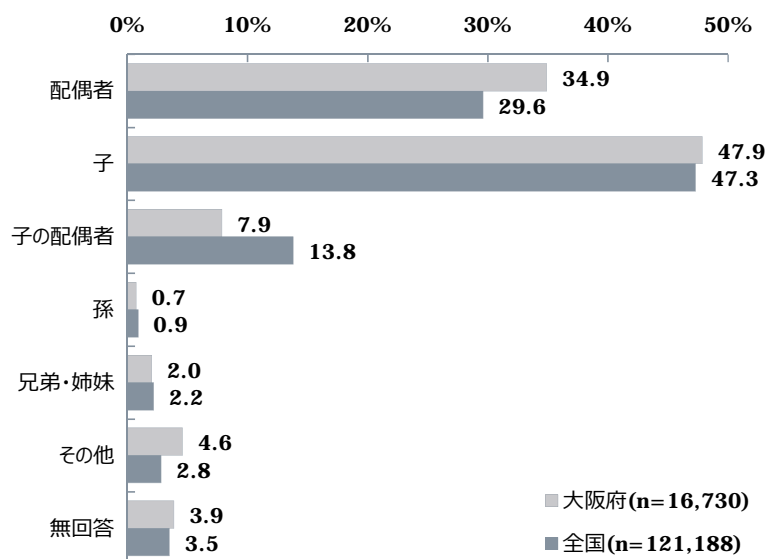
図表 5 家族等による介護頻度



③主な介護者

主な介護者は、「子」が最も高く**47.9%**、次いで「配偶者」が**34.9%**となっている。

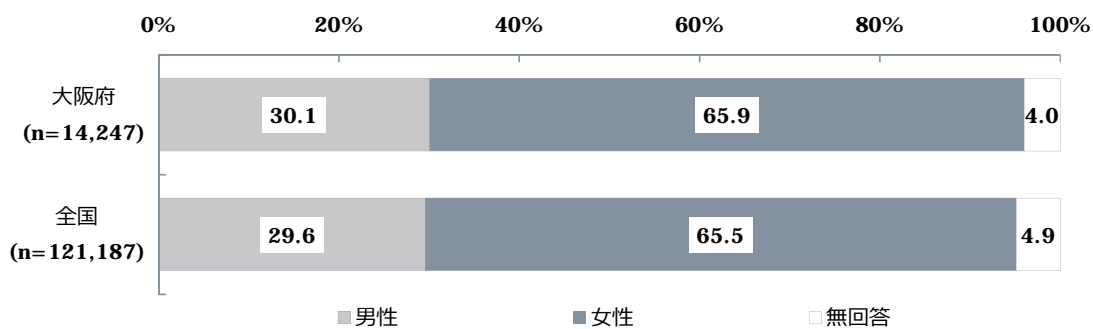
図表 6 主な介護者



④主な介護者の性別

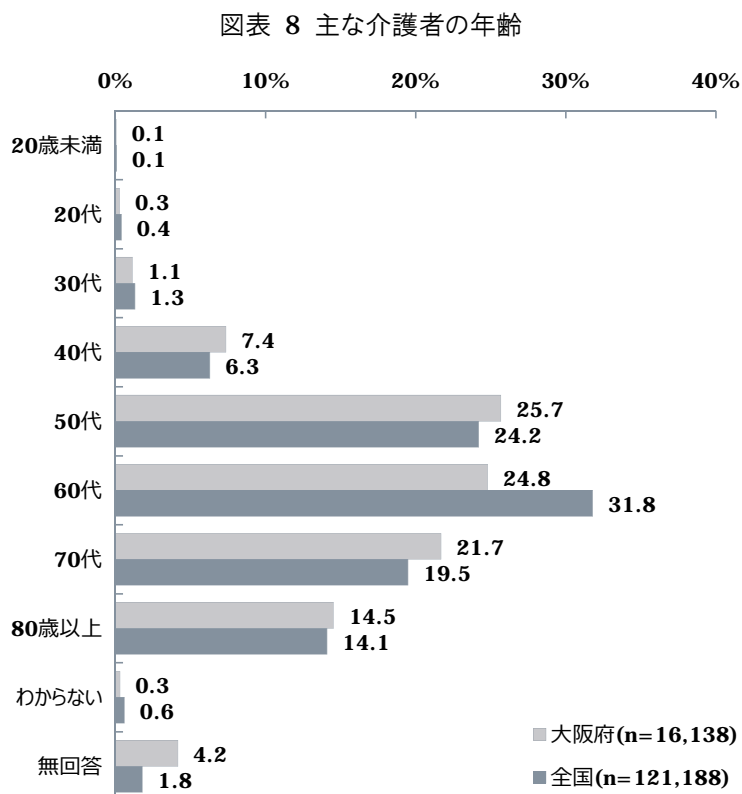
主な介護者の性別は、「女性」が**65.9%**、「男性」が**30.1%**となっている。

図表 7 主な介護者の性別



⑤ 主な介護者の年齢

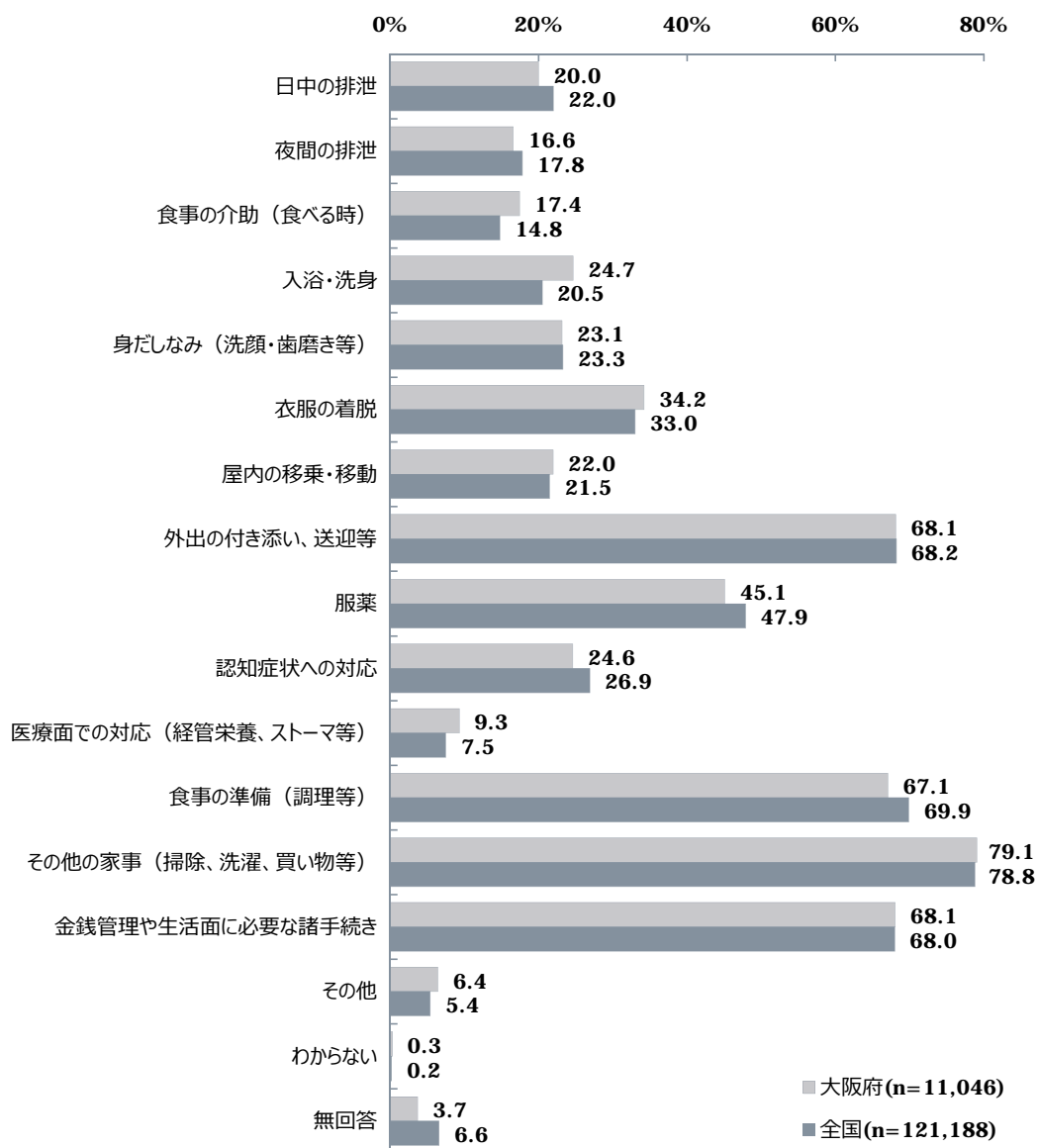
主な介護者の年齢は、「50代」が最も高く 25.7%、次いで「60代」が 24.8%、「70代」が 21.7%、「80歳以上」が 14.5%となっている。



⑥主な介護者が行っている介護

主な介護者が行っている介護は、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が最も高く **79.1%**、次いで「外出の付き添い、送迎等」、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が **68.1%**、「食事の準備（調理等）」が **67.1%**となっている。

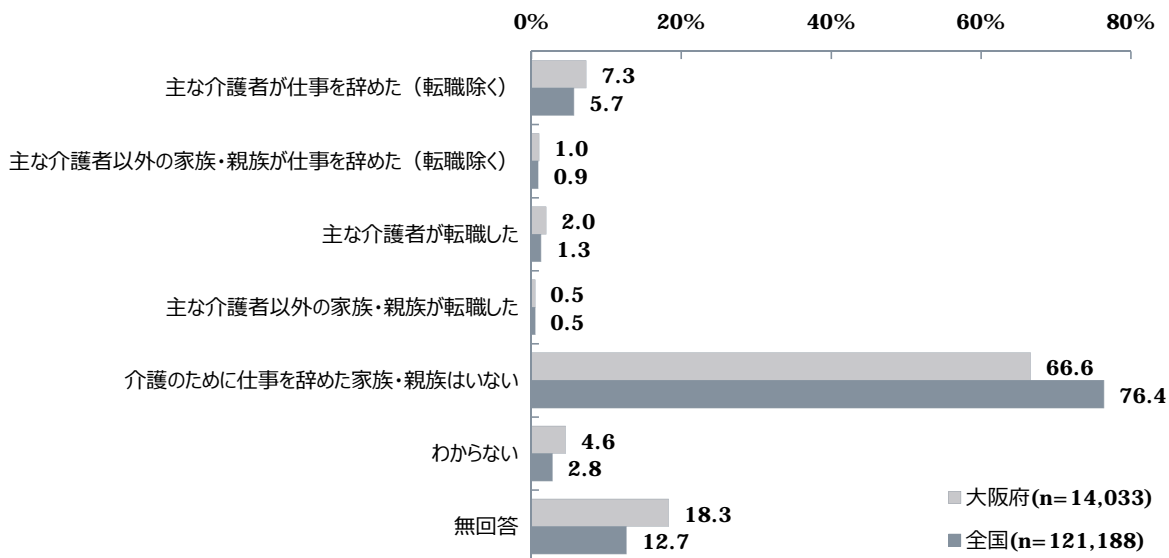
図表 9 主な介護者が行っている介護〔複数回答〕



⑦介護のための離職の有無

介護のための離職の有無は、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が最も高く **66.6%**、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が **7.3%**となっている。

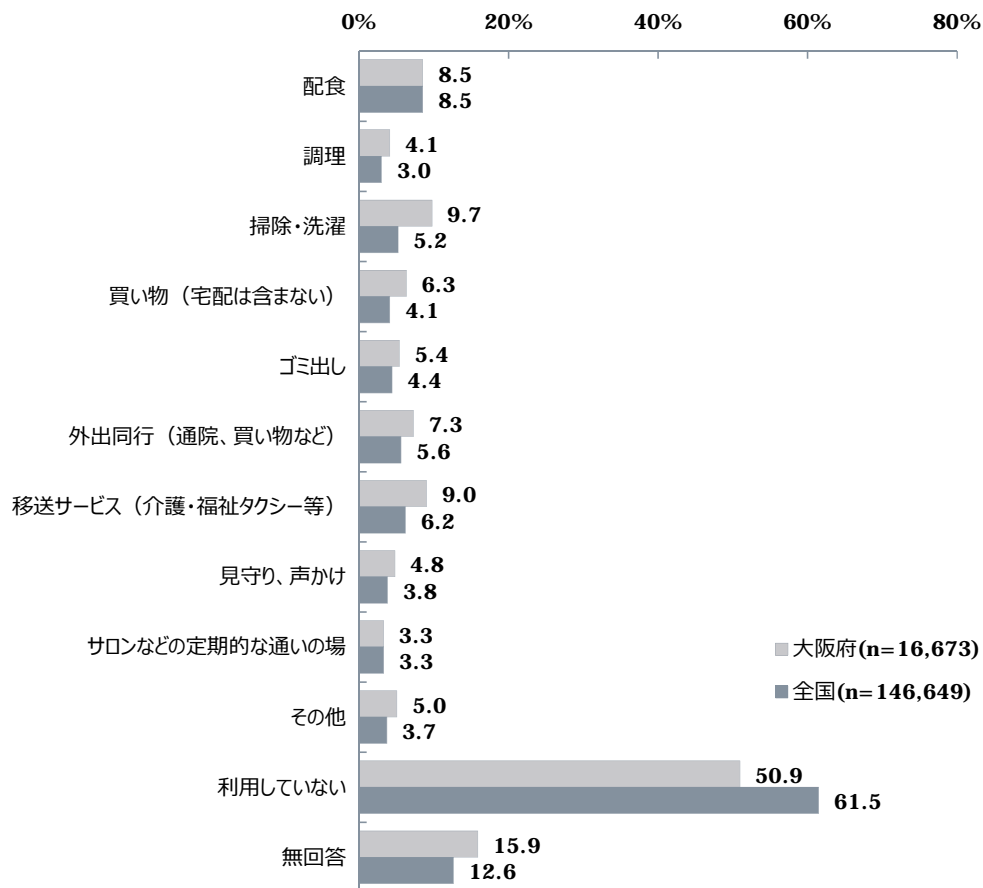
図表 10 介護のための離職の有無〔複数回答〕



⑧介護保険外の支援・サービスの利用状況

介護保険外の支援・サービスの利用状況は、「利用していない」が最も高く **50.9%**、次いで「掃除・洗濯」が **9.7%**、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が **9.0%**、「配食」が **8.5%**となっている。

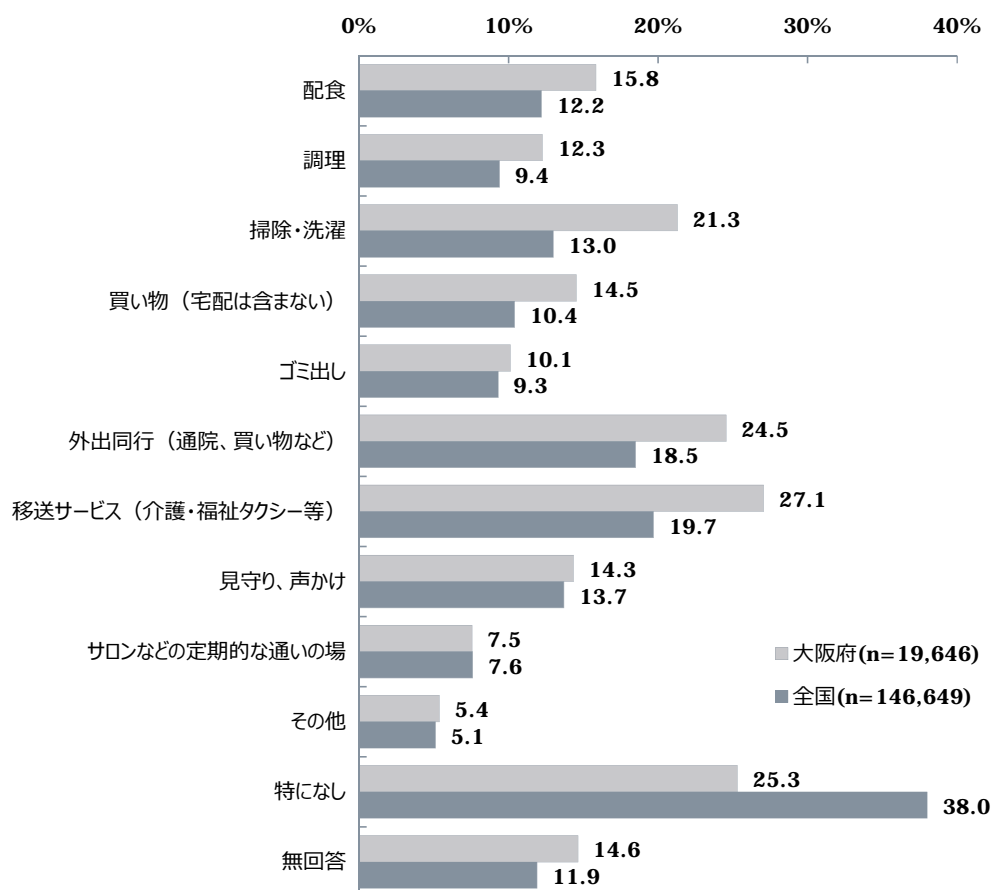
図表 11 介護保険外の支援・サービスの利用状況〔複数回答〕



⑨在宅生活継続のために必要な支援・サービス

在宅生活継続のために必要な支援・サービスは、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が最も高く**27.1%**、次いで「特になし」が**25.3%**、「外出同行（通院、買い物など）」が**24.5%**、「掃除・洗濯」が**21.3%**となっている。

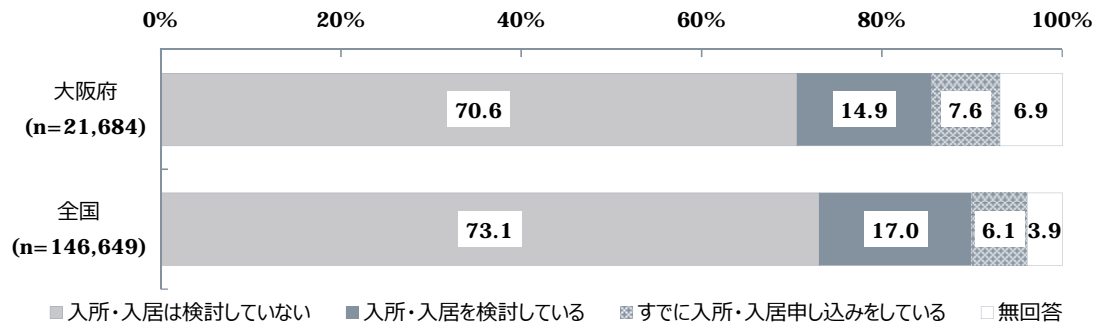
図表 12 在宅生活継続のために必要な支援・サービス〔複数回答〕



⑩施設等の検討状況

施設等の検討状況は、「入所・入居は検討していない」が最も高く **70.6%**、次いで「入所・入居を検討している」が **14.9%**、「すでに入所・入居申し込みをしている」が **7.6%**となっている。

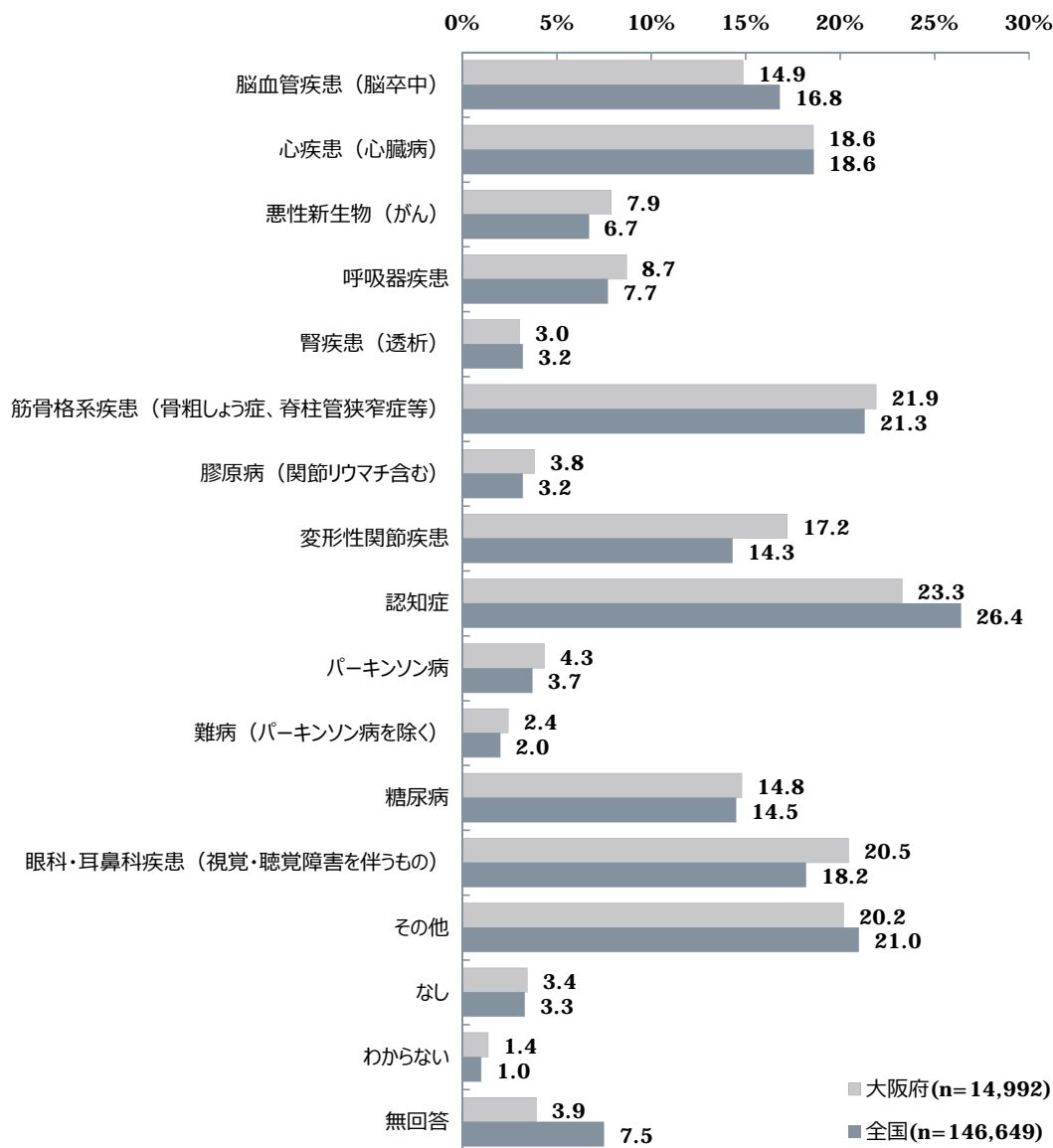
図表 13 施設等の検討状況



⑪本人が抱えている傷病

本人が抱えている傷病は、「認知症」が最も高く **23.3%**、次いで「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が **21.9%**、「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が **20.5%**、「心疾患（心臓病）」が **18.6%**、「変形性関節疾患」が **17.2%**となっている。

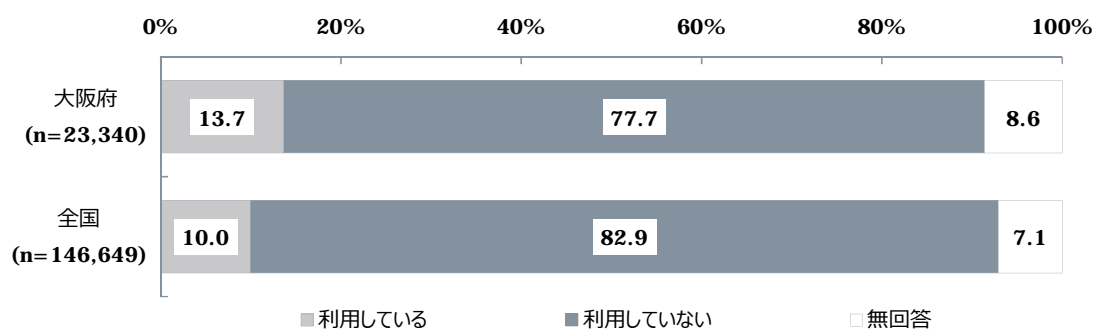
図表 14 本人が抱えている傷病〔複数回答〕



⑫訪問診療の利用有無

訪問診療の利用有無は、「利用していない」が77.7%、「利用している」が13.7%となっている。

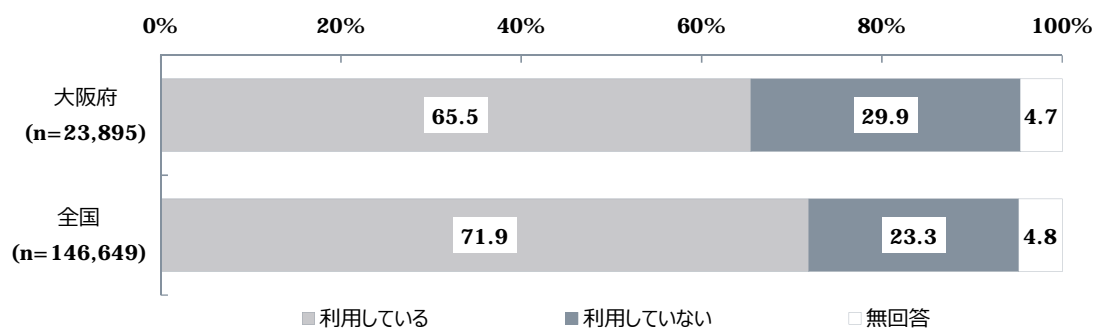
図表 15 訪問診療の利用有無



⑬介護保険サービスの利用有無

介護保険サービスの利用有無は、「利用している」が65.5%、「利用していない」が29.9%となっている。

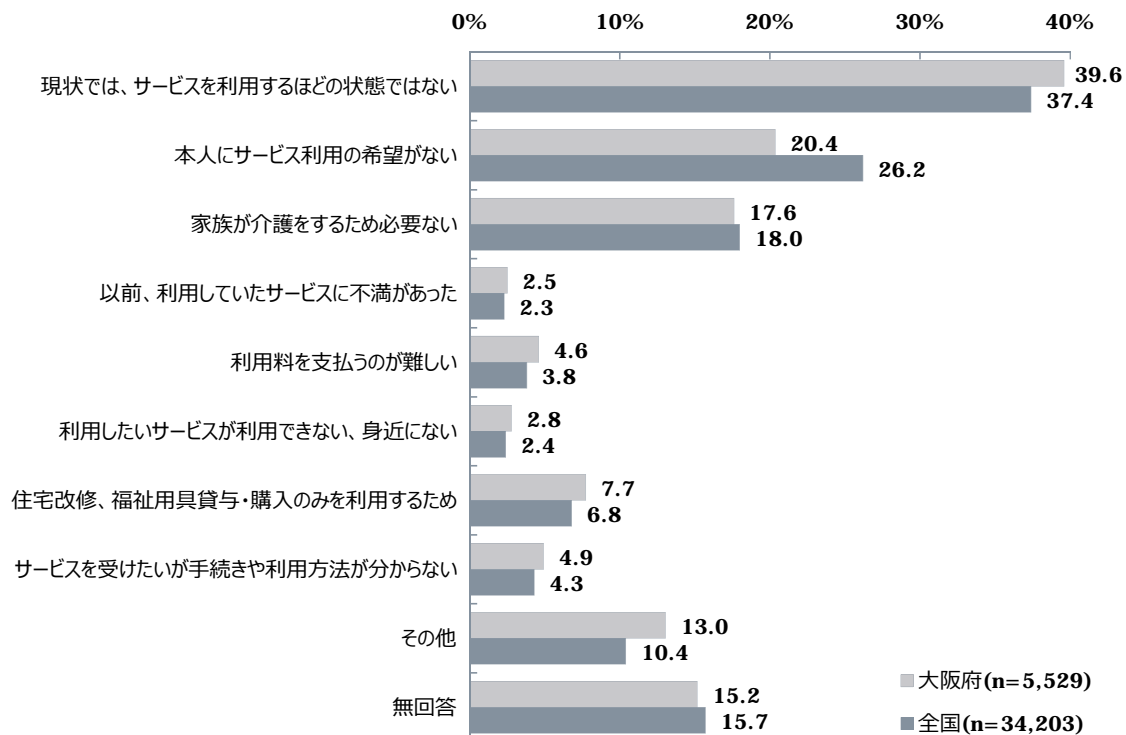
図表 16 介護保険サービスの利用有無



⑭介護保険サービス未利用の理由

介護保険サービス未利用の理由は、「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が最も高く**39.6%**、次いで「本人にサービス利用の希望がない」が**20.4%**となっている。

図表 17 介護保険サービス未利用の理由〔複数回答〕

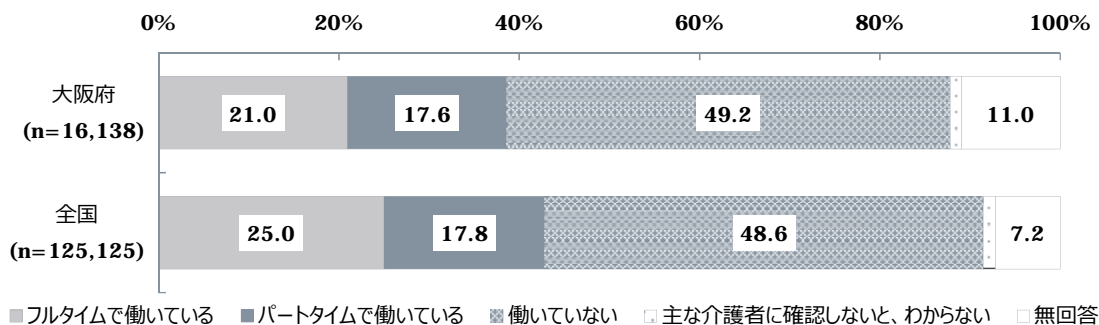


(3) 主な介護者用の調査項目（B票）

①主な介護者の勤務形態

主な介護者の勤務形態は、「働いていない」が最も高く **49.2%**、次いで「フルタイムで働いている」が **21.0%**、「パートタイムで働いている」が **17.6%**となっている。

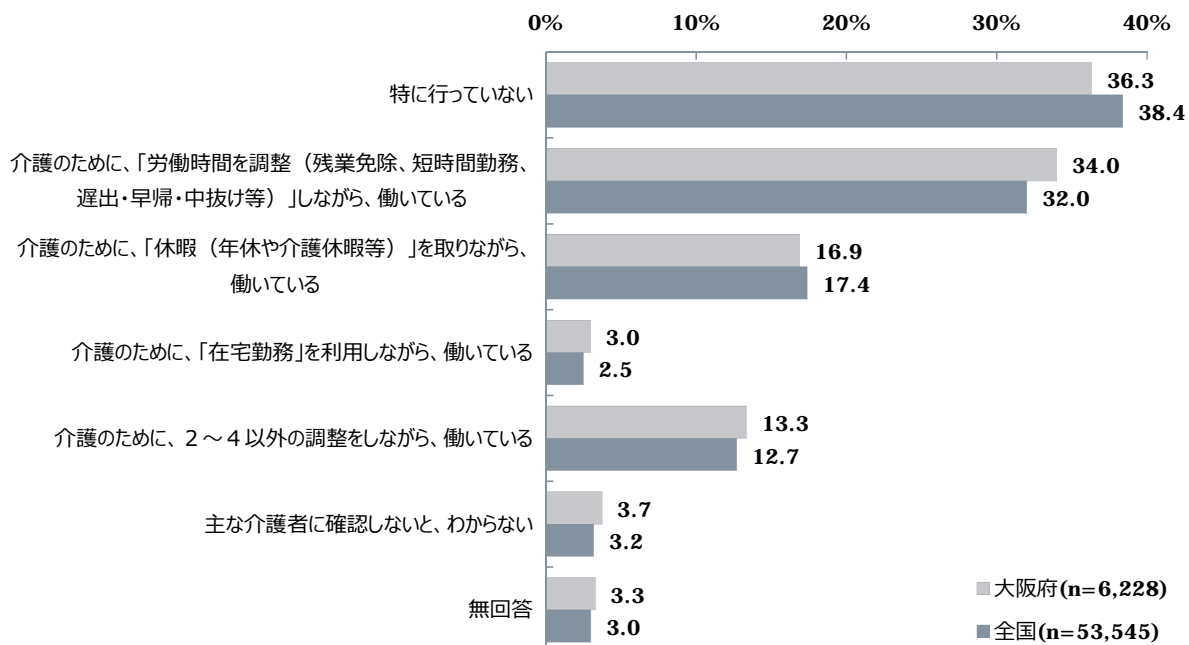
図表 18 主な介護者の勤務形態



②主な介護者の働き方の調整状況

主な介護者の働き方の調整状況は、「特に行っていない」が最も高く **36.3%**、次いで「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が **34.0%**となっている。

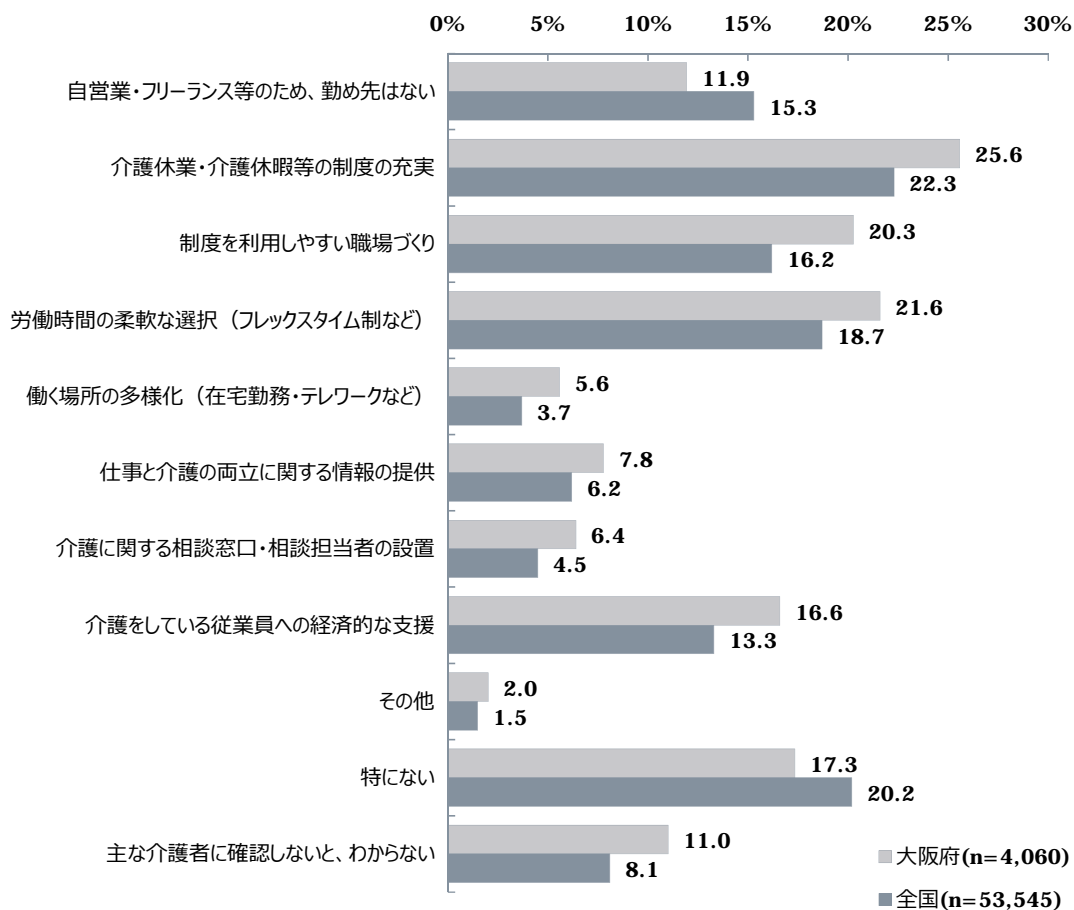
図表 19 主な介護者の働き方の調整状況〔複数回答〕



③就労継続に効果的な勤め先からの支援

就労継続に効果的な勤め先からの支援は、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が最も高く **25.6%**、次いで「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が **21.6%**、「制度を利用しやすい職場づくり」が **20.3%**となっている。

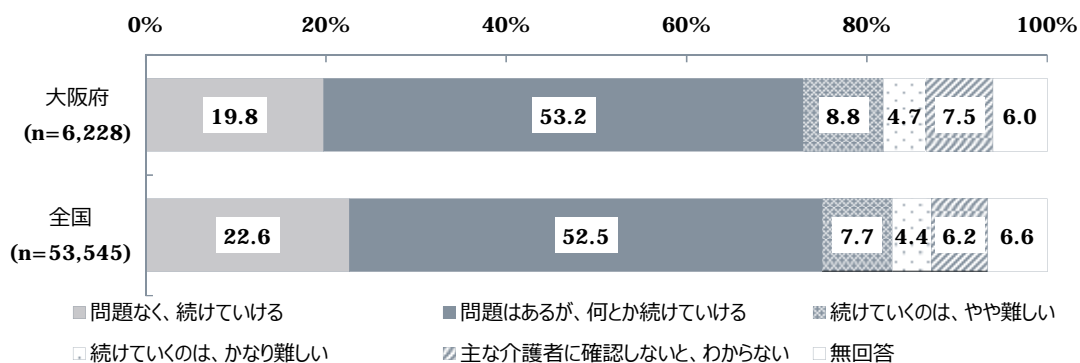
図表 20 就労継続に効果的な勤め先からの支援〔複数回答〕



④主な介護者の就労継続の見込み

主な介護者の就労継続の見込みは、『続けていける』が**73.0%**（「問題なく、続けていける」**19.8%**、「問題はあるが、何とか続けていける」**53.2%**の計）、『続けていくのは難しい』が**13.6%**（「続けていくのは、やや難しい」**8.8%**、「続けていくのは、かなり難しい」**4.7%**の計）となっている。

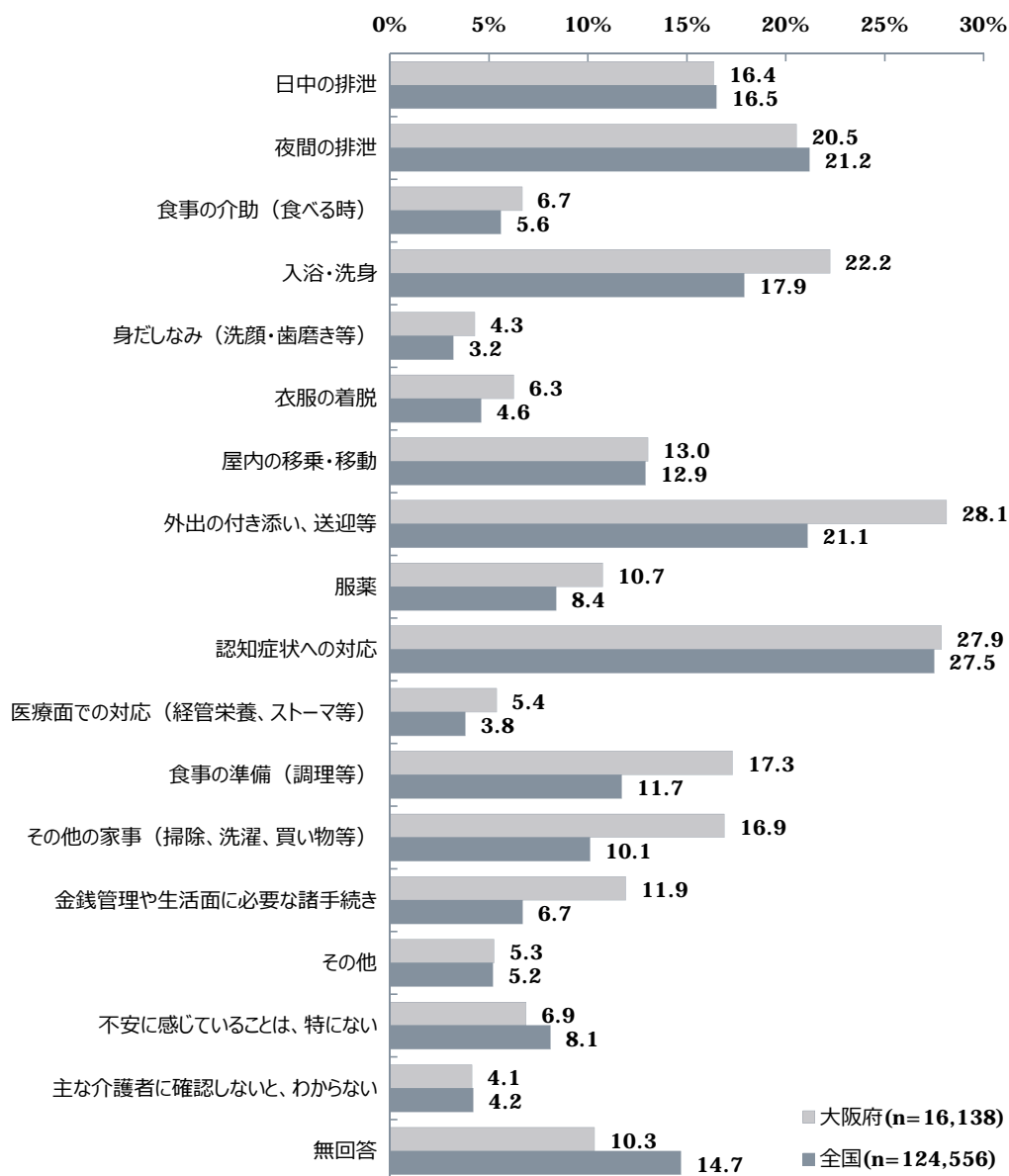
図表 21 主な介護者の就労継続の見込み



⑤ 主な介護者が不安に感じる介護

主な介護者が不安に感じる介護は、高い順に「外出の付き添い、送迎等」が **28.1%**、「認知症状への対応」が **27.9%**、「入浴・洗身」が **22.2%**、「夜間の排泄」が **20.5%**となっている。

図表 22 主な介護者が不安に感じる介護〔複数回答〕



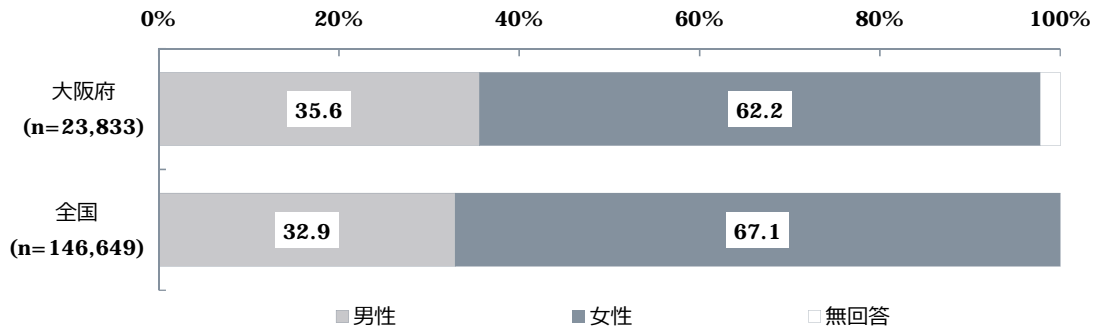
(4) 要介護認定データ

※要介護認定データと接続していない自治体は、アンケート調査をもとに集計している。年齢、要介護度は非接続方式の調査票の選択肢に合わせて集計を実施。

①性別

性別は、「女性」が**62.2%**、「男性」が**35.6%**となっている。

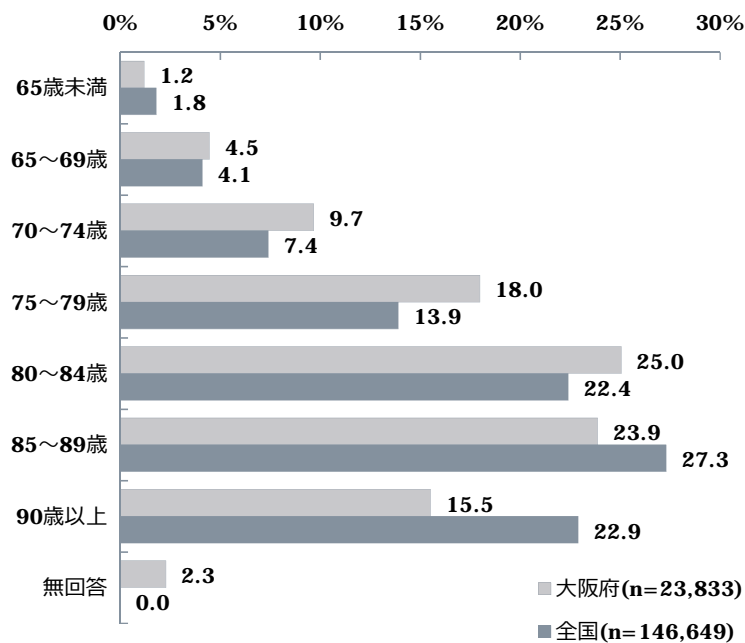
図表 23 性別



②年齢

年齢は、「80～84歳」が最も高く**25.0%**、次いで「85～89歳」が**23.9%**、「75～79歳」が**18.0%**となっている。

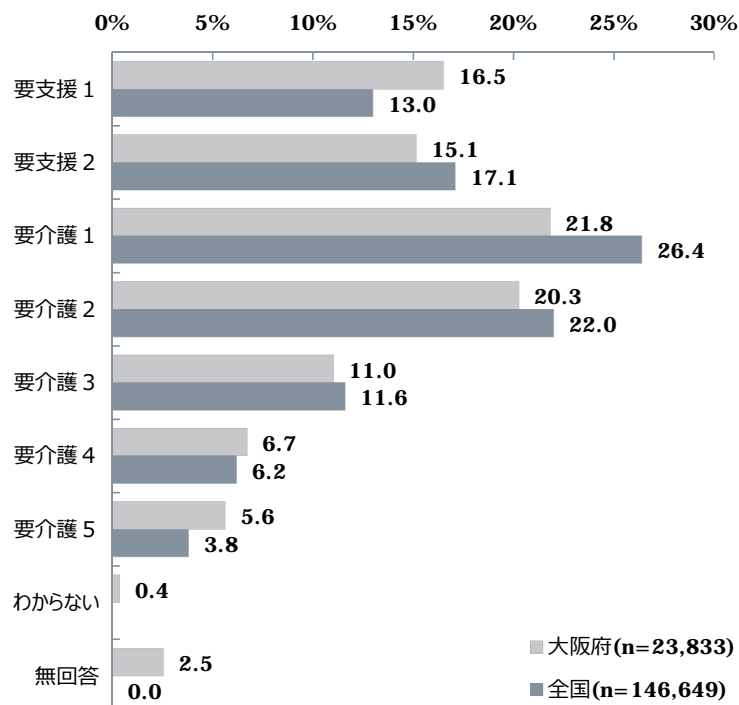
図表 24 年齢



③要介護度

要介護度は、「要介護1」が最も高く**21.8%**、次いで「要介護2」が**20.3%**、「要支援1」が**16.5%**、「要支援2」が**15.1%**となっている。

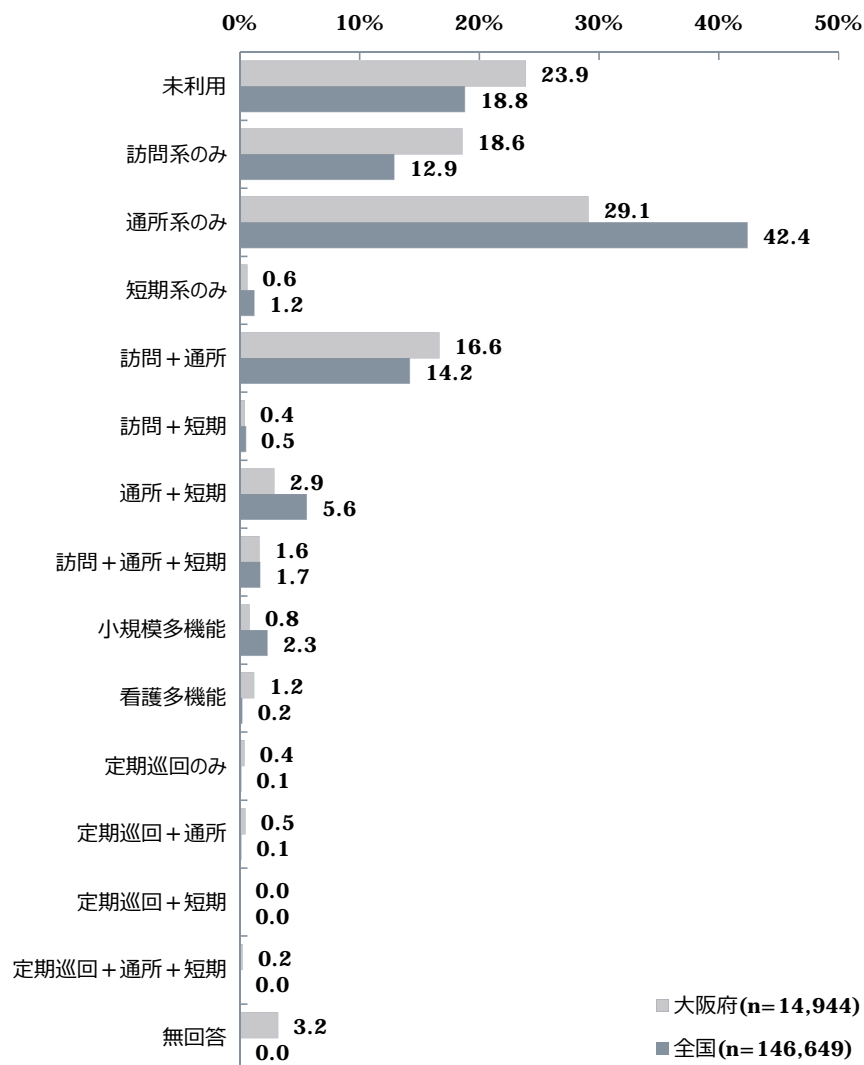
図表 25 要介護度



④ サービス利用の組み合わせ

サービス利用の組み合わせは、「通所系のみ」が最も高く **29.1%**、次いで「未利用」が **23.9%**、「訪問系のみ」が **18.6%**、「訪問+通所」が **16.6%**となっている。

図表 26 サービス利用の組み合わせ



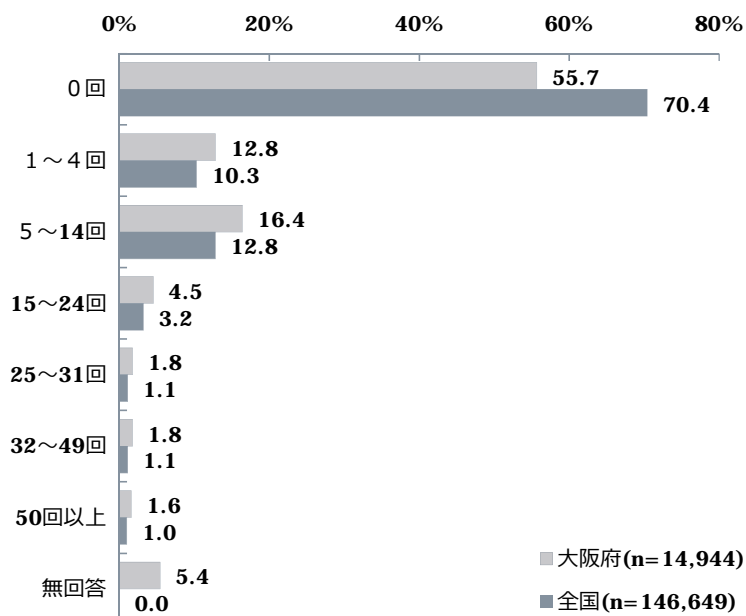
⑤ サービス利用回数

※要介護認定データの提供がなかった自治体は、A票問9において週単位で聞いているサービスは月換算、月単位で幅を設けているサービスは選択肢の平均値を回数と換算することで対応している。

(ア) 訪問系

訪問系サービス利用回数は、「0回」が最も高く**55.7%**、次いで「5～14回」が**16.4%**、「1～4回」が**12.8%**となっている。

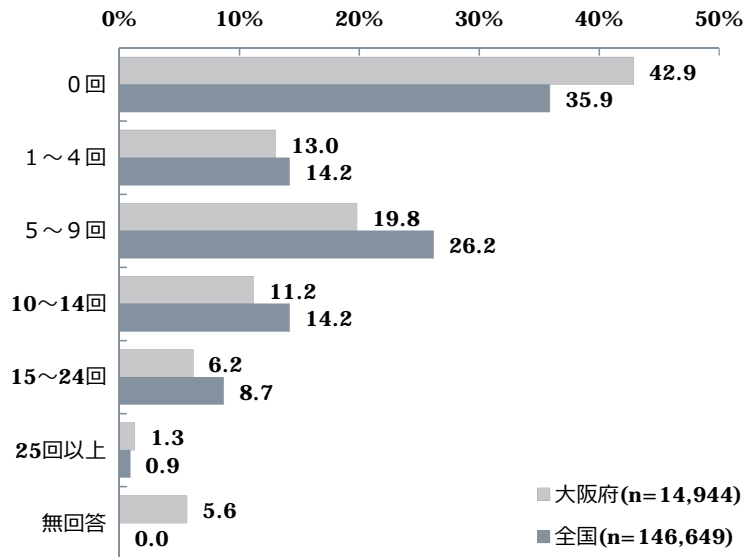
図表 27 訪問系サービス利用回数



(イ)通所系

通所系サービス利用回数は、「0回」が最も高く**42.9%**、次いで「5～9回」が**19.8%**、「1～4回」が**13.0%**となっている。

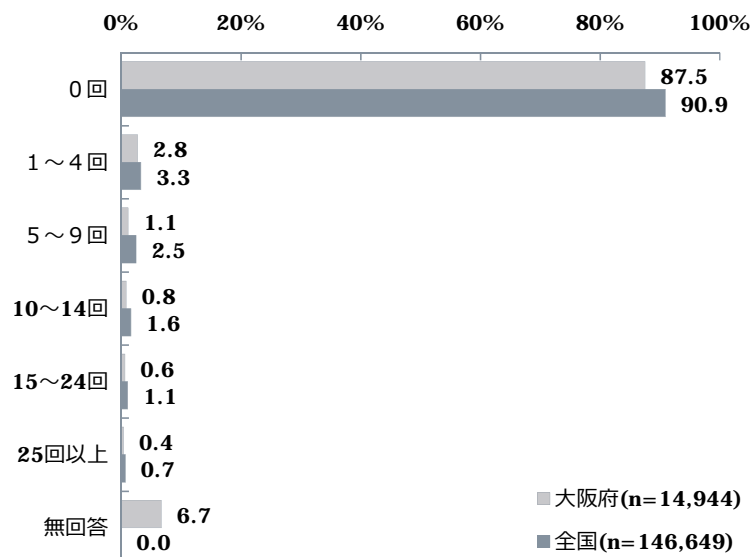
図表 28 通所系サービス利用回数



(ウ)短期系

短期系サービス利用回数は、「0回」が最も高く**87.5%**、次いで「1～4回」が**2.8%**となっている。

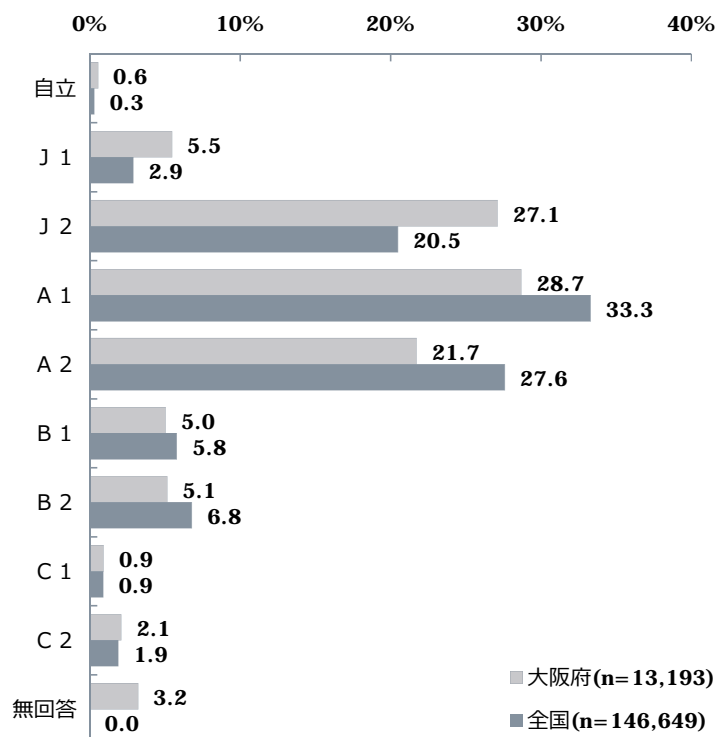
図表 29 短期系サービス利用回数



⑥障害高齢者の日常生活自立度

障害高齢者の日常生活自立度は、「A 1」が最も高く **28.7%**、次いで「J 2」が **27.1%**、「A 2」が **21.7%** となっている。

図表 30 障害高齢者の日常生活自立度



⑦認知症高齢者の日常生活自立度

認知症高齢者の日常生活自立度は、「自立」が最も高く **30.9%**、次いで「I」が **25.7%**、「II b」が **19.0%** となっている。

図表 31 認知症高齢者の日常生活自立度

